

新しい食べ方で消費拡大につながる伝統野菜の復活 ～紫、赤色等の小カブ品種育成～

伝統野菜であるみず菜は、小さく柔らかい品質にすることでサラダ等の新しい食べ方に向くよう改良されました。それに習い、生食や電子レンジ調理に向く小カブの育成を始めました。伝統野菜の小カブと一般の小カブを交配することにより、紫や赤色等の鮮やかな根色を持った甘くおいしい小カブを育成します。

1 交配組み合わせ



伝統野菜

交配
×



一般品種



交配後代

選抜

2 育種方法 (1世代分)



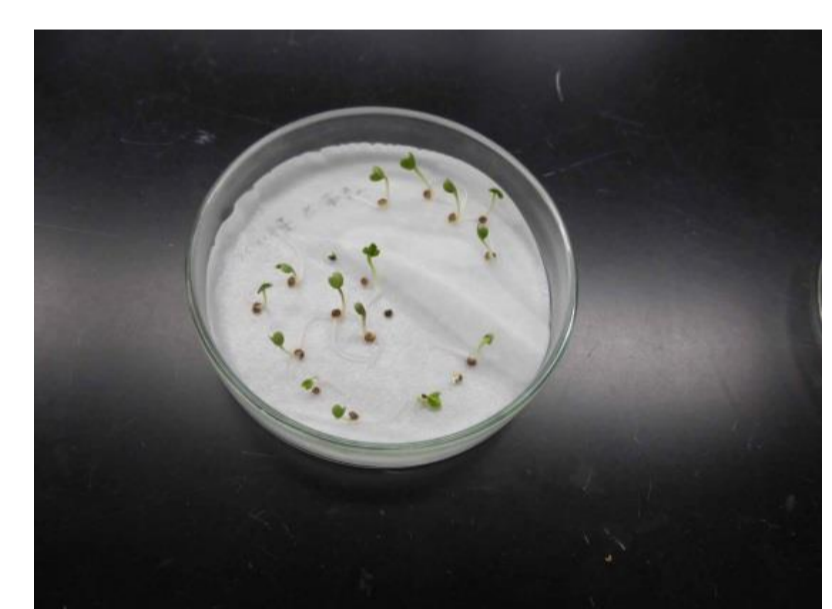
播種



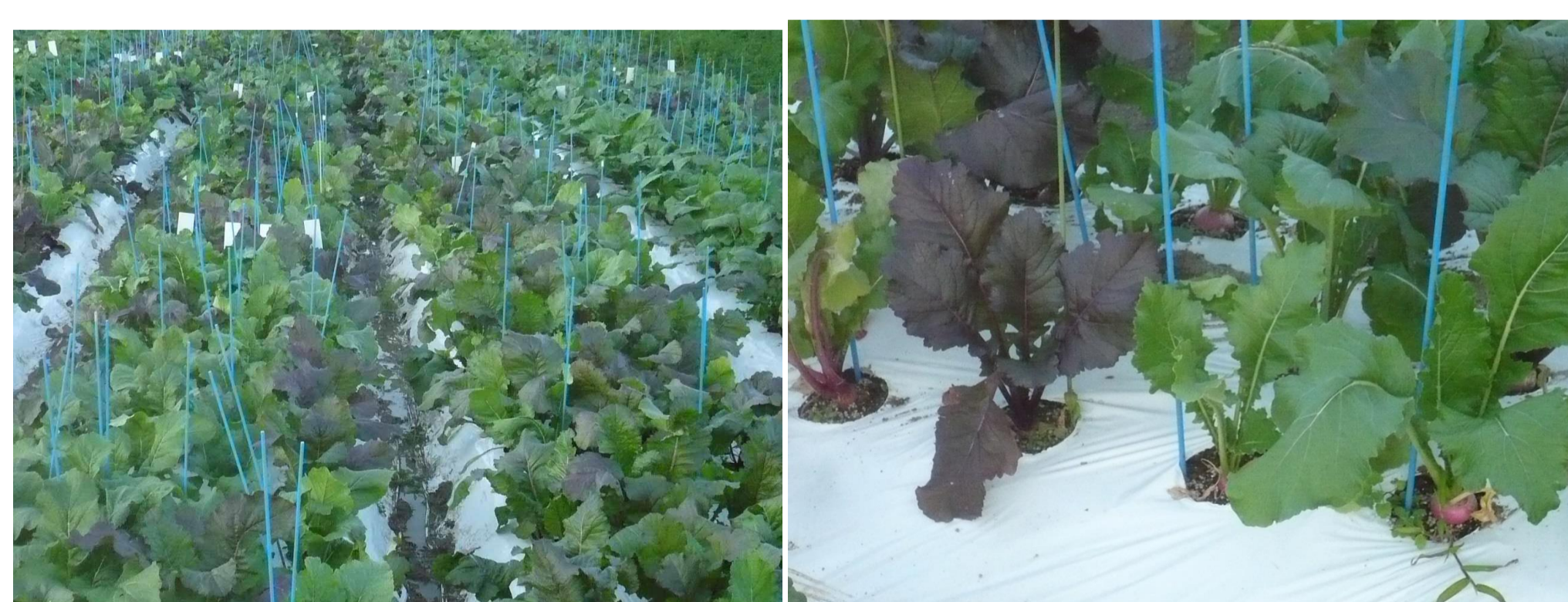
低温処理 (春化)



交配と採種



F₁世代の播種



個体選抜



F₁世代の採種



胚軸色で交配確認

幼苗期に低温処理して早期に開花させて交配し、交配2世代目から色や形で選抜していきます。

〈育種目標〉

根色は赤や紫

ヒゲ根が少なく安定した球形

冬季の糖度7%

皮が柔らかく辛味が少ない

みずみずしい